

クオリティインディケーター（QI）成果報告

【消化器センター】

指標名

大腸内視鏡検査実施数

目標：ゴール

大腸癌の罹患数は男性で3位、女性で2位、さらに癌死亡数の予測では、男性で2位、女性では1位であり、全臓器の中で、一番身近な癌である。
また、大腸癌は増加傾向であり、近年では特に若い世代の大腸進行癌が増えていることも報告されており、大腸ポリープ・早期がんの早期発見は重要な課題である。そのため、大腸内視鏡検査実施数を年間4500件、治療内視鏡件数を1300件以上に向上させることを目標とする。

目標：ゴール達成による効果

大腸内視鏡検査の実数を向上させることで大腸ポリープ・大腸がんの早期発見につながる。

【目標】

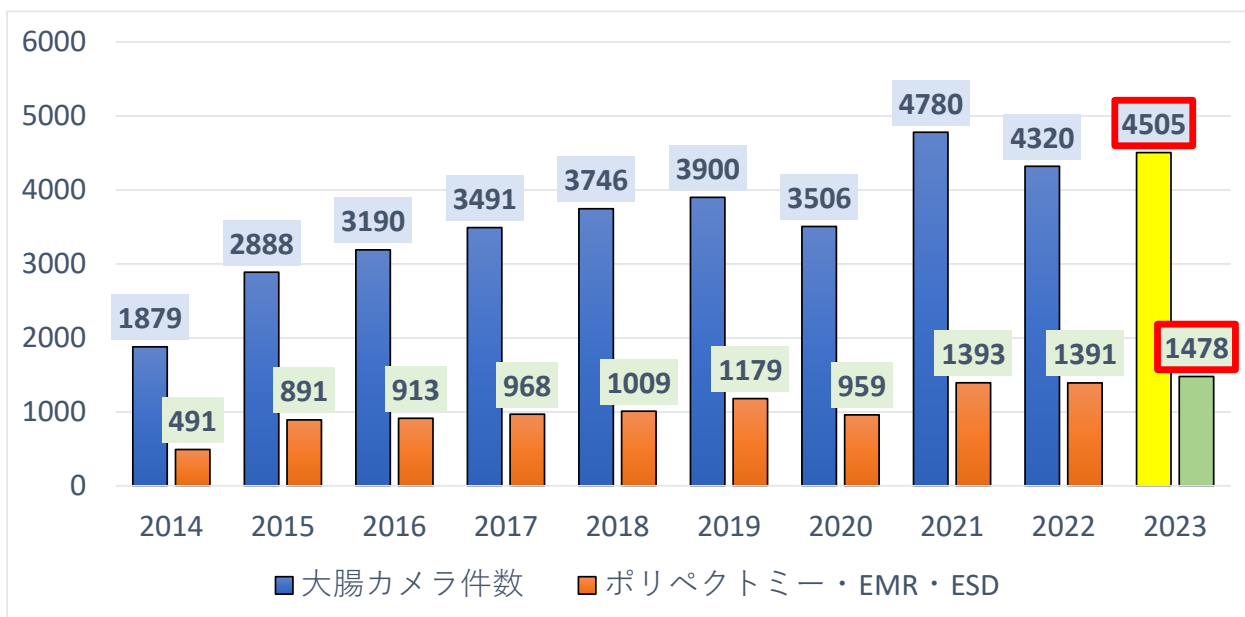
大腸内視鏡検査実施数：4500件

治療内視鏡件数：1400件

目標：ゴールに対する成果の状況

2023年度 大腸内視鏡検査実施数：4505件

2023年度 治療内視鏡件数：1478件



目標：ゴール達成度

- ☐ S : 大幅な目標を上回った
- ☐ A⁺ : 目標を多少上回って達成
- ☒ A : 目標を達成
- ☐ B⁺ : 目標を少し下回った
- ☐ B : 目標を下回った
- ☐ C : 目標を大幅に下回った
- ☐ - : 外的要因より継続困難となった

目標：ゴールの課題・改善策

大腸内視鏡検査の件数は4505件と、昨年度の4230件を大幅に上回った。また、Post-コロナの目標として4500件を目標としてたが、本年度はその目標を達成することができた。
さらに、本年の治療内視鏡件数は、1478件とこれまでで最多であった。当院では最新のAI導入を積極的に行っているため、今後も早期発見・早期治療の向上が期待できる。